

常陸太田市教育委員会生涯学習センター(館長 橋本 久雄)

実施日	平成19年7月5日(木)	時間	午後1時30分～午後3時30分
実施場所	常陸太田市生涯学習センター講座室	対象/人数	「世界を知ろう国際理解講座」34名
担当者	岡部 恒雄	ファシリテーター	山形 正子
講師	カーリー・ボード (オーストラリア・県国際交流員)		

活動内容

開会行事と講師紹介 13:00～13:35

講話「オーストラリアの掛け橋として」13:35～14:00

オーストラリアについての質疑応答 14:50～15:20

閉会行事 15:20～15:30

講話内容

- ・自己紹介(メルボルン出身。4年間日本に滞在。10年間も日本語を勉強する。)
- ・オーストラリアの話
 - メルボルンから日本まで所要時間12時間
 - 人口は2,000万人、面積は日本の約20倍、コアラ4,000万頭
 - 国旗：イギリス領であった。南十字星と6つの星(6州)
 - 貨幣 紙幣…プラスチック製、コインにはエリザベス女王がモチーフとなっている
 - 車は日本車が多く中古車を使用している。車検制度はなし、売買時だけ点検、運転は18歳から
- ・質問
 - もったいない運動について
 - ・過剰包装はしない、広告紙の利活用
 - ・リサイクルが盛んである
 - ・自然を大切にしている。
 - ・水が不足しており大切にしている。洗車は出来なく、シャワーは3分以内、米が作れない。
 - 食生活について
 - ・肉も食べるが、野菜が多い。米をよく食べる(夕食)
 - ・イタリア、ギリシャの移民も多いので、その国の料理も食べる。中国・ベトナム料理も多い。
 - 政治・選挙について
 - ・18歳から、投票する義務がある。棄権の罰則として2万円。98%の投票率、海外からも投票。
 - 伝統的な料理は何か
 - ・イギリス系パン、ベジマイト(濃厚酵母エキスジャム)など。伝統的な料理は特にないと思われる
 - 果物は、主にりんご、オレンジ、梨。
 - ガソリン代は、日本と同じ程度。
 - 学校制度は1月に始まり12月に修・卒業式
 - 鯨は食べない。観賞するもの(船で見学ツア

- ーがある)
 - 医療費・国民健康保険について
 - ・日本は安い、オーストラリアパブリックは安い、プライベートは高い。
 - 民族問題
 - ・1900～1970年は白人主義であったが、1970年以降人種問題無し、黒人も難民も多いが問題はない。
 - アメリカ英語とオーストラリア英語の相違点
 - ・オーストラリア英語は、語尾にイーを使う
 - オーストラリアの動物
 - ・大きな動物はいない。カンガール、コアラ、ハリネズミ、カモノハシ、エミュー、デビル(猫大)、コカチョウ(オウム)等
 - 山火事が多い。3ヶ月も燃え続けている。
 - 気温
 - ・メルボルンの夏は40度位まで、冬は8度～10度で温暖である。
 - ・雪は降るがスキー場は少ない。オーストラリアから日本へのスキー客も多い。

講話の感想

- ・日本はオーストラリアに関心が高いので沢山の方々から質疑が多くありました。実際にオーストラリアへ行かれた方は10名以上挙手され興味を示した。
- ・講話の内容もわかりやすく、小中学生の前で活躍しているというので、楽しく聞くことができた。
- ・沢山の資料・ぬいぐるみなどをリックにつめて具体的に生活、教育、地勢などわかりやすかった。

